

2022年10月12日

木材業景況調査結果

第457回（令和4年9月分）

（一社）全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

9月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらず、仕入量については、流通部門では減少、製造部門では変わらなかった。販売価格については、流通部門では下降、製造部門では変わらなかった。また、仕入価格については、流通部門・製造部門とも下降した。

10月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門、製造部門とも変わらずの見通しであった。また、販売価格については、流通部門では弱含み、製造部門では保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも弱含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門、製造部門とも弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。今回も前月同様、建材を除きほとんどの部門で弱含みの予想となった。

プレカットは、9～10月の出荷依頼が好調で年内は継続する見込みだが、年明け以降の受注減が懸念される。全国的に、非住宅物件の引き合いは好調である。また、木材相場は下がり傾向でも木材以外の経費（人件費、電気代、副資材、運賃等）が引き続き上がっており木材関係事業者は苦慮している。

景況調査

令和4年9月分集計表 ()内は実数
モニター数135 回答82 回収率61%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加27% (22)	変わらず46% (38)	減少27% (22)
仕入量	増加18% (15)	変わらず50% (41)	減少32% (26)
販売価格	上昇11% (9)	変わらず63% (52)	下降26% (21)
仕入価格	上昇15% (12)	変わらず56% (46)	下降29% (24)

来月の見通し

販売量	増加24% (20)	変わらず54% (44)	減少22% (18)
仕入量	増加21% (17)	変わらず54% (44)	減少26% (21)
販売価格	強含み11% (9)	保ち合い62% (51)	弱含み27% (22)
仕入価格	強含み15% (12)	保ち合い54% (44)	弱含み32% (26)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	14% (9)	49% (32)	37% (24)
南洋材	13% (7)	78% (42)	9% (5)
北洋材(欧州材を含む)	12% (7)	45% (26)	43% (25)
国産材	8% (6)	48% (36)	44% (33)
建材	32% (18)	55% (31)	13% (7)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24% (13)	69% (38)	7% (4)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数98 回収率77%

当月の状況

販売量	増加23% (23)	変わらず51% (50)	減少26% (25)
仕入量	増加22% (22)	変わらず48% (47)	減少30% (29)
販売価格	上昇6% (6)	変わらず72% (71)	下降21% (21)
仕入価格	上昇10% (10)	変わらず60% (59)	下降30% (29)

来月の見通し

販売量	増加26% (25)	変わらず58% (57)	減少16% (16)
仕入量	増加21% (21)	変わらず57% (56)	減少21% (21)
販売価格	強含み5% (5)	保ち合い70% (69)	弱含み24% (24)
仕入価格	強含み8% (8)	保ち合い67% (66)	弱含み24% (24)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	8% (3)	37% (14)	55% (21)
南洋材	17% (4)	50% (12)	33% (8)
北洋材(欧州材を含む)	3% (1)	35% (12)	62% (21)
国産材	8% (7)	44% (41)	48% (45)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	23% (9)	58% (23)	20% (8)